

Governor's

Monthly Letter

2016-2017 第2610地区活動方針「語り合おう ロータリー」

「桜ヶ池からの山並み」



例会開催の頻度について

今年4月にシカゴで開催された規定審議会では、時代の変化を反映し、これまでにない大きな規定改正が行われました。その中でも特に関心が高いであろう「例会の頻度」について、知りえた会議の1部を取り上げてみました。

【改正の趣旨および効果】 制定案は、標準ロータリークラブ定款・第7条、第10条、第13条の例外を認め、各ロータリークラブが例会頻度と出席に関する独自の細則を定める事ができるよう柔軟性を持たせたものになっている。クラブには以下のオプションが与えられるようになる。

①クラブがいつ、どのくらいの頻度で例会を開くか決める。 ②適切な出席要件を定める。 ③欠席による終結の方針を修正または削除する。

ロータリーの現況は、会員基盤の縮小と高齢化が進行しており、このままでは会員減少に歯止めがかからなくなり極端な会員構成となる可能性がある。例会の頻度に柔軟性を持たせることによりロータリー入会のハードルを下げ、若い人の入会を促進することが狙いである。

【賛否両論】 会議で発言された主なものを抜粋しました。
(賛成意見)

①ロータリーの例会は、親睦を始めたクラブ会員が集まり活動する前提で動いているので、明確に2回以上の例会を開催することに問題は無いと考える。柔軟性は「何でもOK」を許すものではない。

②完全なる自由よりも何らかの制限をすることが大事である。毎週の例会を維持しようとしているクラブには全く関係のない議案であり、新しいクラブが今後どのように「選択」をするかが問題であり、柔軟性を持たせることによってクラブの活力を拡大することが出来る。

③(16-21が採択されなければロータリーの未来が危くなる。試験的プログラムの結果は、柔軟性を与えることで会員の拡大に寄与する結果になっている。地域によってふさわしい例会の開催頻度を実現する柔軟性を与えるべき。

④クラブの活力が減退していることが今日のロータリーの最大の課題である。若い人たちがクラブに入会しなければロータリーは消滅する。若い人々にはより柔軟性を持った例会開催をするべきである。

(反対意見)

①この修正案は他の奉仕団体と同じことになる。ライオンズは月2回の例会をしているが会員数は増加していない。ロータリーは今までの例会を維持すべき。

②これまで築いてきた価値は「例会」を通して信頼関係、キズナを深めてきた。例会を毎週開催すべきである。

(その他の意見) ロータリーの未来を考えるのなら変化を恐れてはいけない。クラブの多くは例会を開催していない。長期のパッケージで2ヶ月例会を開催しないクラブが存在する。

この案件は一時間にわたる審議の後、採決に入り、賛成392反対82で採択された。

16-21 クラブ例会と出席に柔軟性を認める件(毎月最低2回の例会に修正)

参考までに、この件で過去にロータリーで発表された文献がありましたのでご紹介し、各クラブで議論を深めていただければと思います。
(深川純一PDG 純ちゃんのコーナー ロータリー情報より引用)

【毎週一回の定例の会合】 「この例会開催は、シカゴクラブの創立当初は2週間に1回でしたし、東京クラブでは当初1ヶ月に1回でした。1922年の定款改正で、1週間に1回と定められ、それ以降に出来たクラブはそれを守っていますが、それ以前にできたいわゆる特権保有クラブの中には、現在でも2週間に1回しか例会を開いていないクラブがあります。またなぜ、毎週1回の定例の会合を定めたかについても、いろいろな考え方があります。ロータリーの例会を会員の事業上の発想の交換の場と位置づけ、奉仕の心を学ぶ人生の道場と考えるなら、なるべく多くの例会を開くほうが良いことになるでしょう。しかしこれとて、1週間に1回ならば良いが、2週間に1回では駄目だという理屈づけにはなりません。さらに、最近では、例会を「奉仕の心を研鑽する場」という位置付けをする人が減り、参加型クラブという概念も議論されるようになりました。例会参加よりも奉仕の実践の方が大切だと言う考え方は、ロータリー運動そのものを、弱者に涙する人道的ボランティア活動だと考える人が多くなれば、例会で昼飯を食べている時間があるのなら、額に汗して奉仕活動の実践をすべきだという理屈もまかり通るわけです。かつては、国際協議会の入り口に大きく、「Enter to learn, go forth to serve」(入って学び、出でて奉仕)と書かれてあったそうですが、昨今は、「Join leader, Exchange idea Take action」と書かれているようです。(社会のリーダーの集まりであるロータリーに加入し、アイデアを交換し、地域や世界のために行動しよう)ということになるのではないかと感じています。特に「行動する」と言うところに力点が置かれていると感じております。」 ガバナー 岡部一輝

2016.12
vol. 06

Rotary International District 2610



人類に
奉仕する
ロータリー



高岡ロータリークラブ 創立65周年記念事業

高岡ロータリークラブ 第65代会長 花田 修一

高岡ロータリークラブは1951年11月15日に創立、東京ロータリークラブと富山ロータリークラブをスポンサーとして全国68番目のクラブとして発足いたしました。以来友愛の精神のもと奉仕の理念を掲げロータリー活動に邁進し、おかげさまで創立65周年を迎える運びとなりました。

記念式典においては、岡部ガバナーをはじめ多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、総勢90名で盛大かつ厳粛に執り行われました。創立当時の様子を映像で写し、会員一同、創立当時のメンバーの気概を感じとり、奉仕の理念の再確認とロータリーの目的の達成を誓う場となりました。そして、このような記念すべき節目を迎えられたのは、ひとえに先輩諸兄、会員の皆様の弛まぬ努力の賜物であったと深く敬意を表します。



記念講演会は作家の浅田次郎氏をお迎えして「人生いかに学ぶか」～読むこと、書くこと、生きること～をテーマにご講演をいただきました。ロータリアン、地域の方々総勢700名のご参加をいただき、読むこと、書くこと、学ぶことの大切さを再認識し、「自分の行動は、他人や社会に左右されずに自分自身で決めていく」ことが人生を豊かにするために必要なことだと学びました。

今後も、高岡ロータリークラブは皆様の期待に添えるよう地域と共に発展する所存でございます。皆様方の変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

高岡西ロータリークラブ 創立50周年記念式典

高岡西ロータリークラブ 第50代会長 島 竜彦



去る10月26日に、当クラブは創立50周年記念式典と祝賀会を盛大にホテルニューオータニ高岡で挙行いたしました。

当日は富山県知事、高岡市長、高岡商工会議所会頭をはじめロータリー関係者も含め総勢130名のご来賓にご臨席を賜りました。

当クラブの創立は1966年、会員数30名でスタートを切り、ピークは88名で現在は62名の会員です。50年という長い時間の経過の中ではいろいろなことがありました。中でも地区ガバナーを3名輩出し地区の発展に貢献して参りました。小矢部、高岡北クラブのスポンサークラブとして設立支援して参りました。また青少年育成の観点では高岡商業高校インターアクトクラブのスポンサーを48年間務めてまいりました。友好クラブも台湾・花蓮扶輪社と35年、上田東ロータリークラブとは23年、お互いに学び友情を育み切磋琢磨して来ました。



これからの50年に向けては、クラブ創立時の原点に立ち返り「奉仕の理念」の更なる達成に向けて、新たなスタートを切ろうと会員全員で確認をしたところです。

白山石川ロータリークラブ 創立15周年記念式典

白山石川ロータリークラブ第15代会長 山内 隆

創立15周年記念例会・祝賀会を、去る11月12日に開催したところ、国際ロータリー第2610地区ガバナー岡部一輝様、白山市長、野々市市長はじめ多くの来賓の皆様、ロータリアンの皆様にご臨席いただきました。

当日は天候にも恵まれ、記念例会・祝賀会とも滞りなく終えることができました。

記念例会では直近5か年の会長幹事に感謝状を贈呈し、祝賀会では会員企業でもある浅野太鼓文化研究所監修の「炎太鼓」の演奏を楽しんでいただきました。

創立5周年記念式典開催時に国際ロータリー第2650地区八日市南ロータリークラブと友好クラブとして締結を行いました。今後も継続して友好を深めていくことを当日あらためて確認いたしました。

今回の記念事業としては、石川県立松任高等学校への楽器の寄贈、白山市国際交流協会と米山記念奨学会への寄付などを行い、また平和を願い、広島市の被爆樹木であるイチヨウの苗木の記念植樹を金城大学で行い、さらにロータリー財団地区補助金プロジェクトとして3か年に渡り「世界に通用する青少年を育てる」事業を実施いたしました。

2001年に現白山ロータリークラブをスポンサークラブとして創立してから早くも15年が経過いたしました。地区交換留学生の受入と派遣、米山奨学生の受入、地域での奉仕事業などを継続的に行ってまいりました。今後も国際交流の輪を広げ、地域に根差した活動を行っていきたくと考えています。

今回の例会をこれまでの感謝と今後のクラブの姿を考える契機とし、ロータリー精神を持って地域に誇りうるクラブとなるべく、着実に進んでいきたいと思っております。



岡部一輝ガバナーよりの御祝辞



直近5か年会長幹事への感謝状贈呈



祝賀会での「炎太鼓」演奏

ロータリー希望の風募金

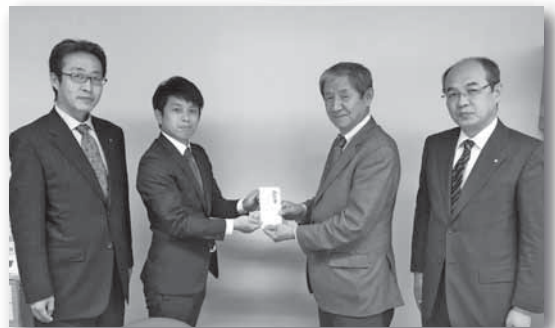
ローターアクトクラブ(牧野代表)は、今年度地区大会の会場において、「ロータリー希望の風募金」を実施しました。休憩時間を利用して会場ロビーで募金を行い、158,150円が集まりました。

ロータリー希望の風奨学金は東日本大震災で災害遺児となった青少年たちに、少しでも学業が継続できるよう教育支援をしていきたいという会員の願いから立ち上げられました。



現在130名ほどの青少年が月額5万円の支援を受けています。

時間の経過とともに、私たちのこころの中で東日本大震災が風化してはいないでしょうか。震災からの復興はまだ道半ばです。この事業は資金が続く限り継続されるので、会員の皆様のさらなるご協力をお願いします。アクトの皆さん、ご苦労様でした。



ご協力ありがとうございました

富山第4分区都市連合会開催

11月13日(日)に富山第4分区のIMが、氷見中央RCの主催で氷見うみあかりにて開催されました。大会は「会員拡大」を主題として進められました。

基調講演では、富山大学の芸術文化学部 沖准教授をお迎えし「人の心を揺さぶるプレゼンテーション」と題して講演をいただきました。プレゼンをするにあたっての留意点は受け手・場所・目的を明確すること。さらに受け手の属性・数・知識・地位などを考慮し組み立てれば必ず心を揺さぶるプレゼンが可能になり、会員拡大につながると話されました。プレゼンのNGワードは「ここに書いてありますけど」「先ほどもお話ししましたけど」など、聞き手にとって不要でなおかつマイナスとなる表現はいらぬそうです。



プレゼンの要

「相手を知り、
相手を慮り、
誠意をもって相手に伝える」

続いて桶ガバナー補佐のコーディネートで各クラブより入会3年未満の新人と5年以上のベテランをパネラーとしてディスカッションを行ないました。メインテーマは「私はこうしてロータリアンになった。」というシリアスな内容でしたが、桶コーディネーターの軽妙な進行のおかげで、各パネラーには「そこまで言って委員会」とまがうような本音で語っていただき、たいへん充実した内容となりました。基調講演・そしてパネルディスカッションを通して会員拡大につながる有意義なIMでありました。



10月

R財団・米山記念奨学会 寄付者

ベネファクター

上田 雅裕 10月26日 射 水

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

中村 哲郎 10月18日 金 沢 6回
梅村 光男 10月 7日 金沢香林坊 7回
山田 哲郎 10月 8日 金沢香林坊 3回
山本 武夫 10月21日 東となみ 4回
北山 剛 10月 1日 新 湊 2回
牧野 明 10月12日 高 岡 1回
前島 修 9月12日 小矢部中 2回
脩庵虹ビル 10月20日 金 沢 南 4回

ポール・ハリス・フェロー

北村 治俊 10月13日 金 沢 西

米山功労者 マルチプル

浜上 満 10月20日 金 沢 南 2回
西村富美義 10月27日 加 賀 2回
岡田 英幸 10月27日 加 賀 2回
小新 吉彦 10月27日 加 賀 4回
中西 忠彦 10月12日 小 松 2回
田川 剛 10月25日 能 美 6回

入口 博志 10月25日 能 美 2回
石橋 宏文 10月14日 七 尾 6回
高澤 良英 10月14日 七 尾 5回
大根 富男 10月14日 七 尾 3回
木下 博安 10月14日 七 尾 2回
宮川 晴行 10月14日 七 尾 2回

米山功労者

園田 貴之 10月20日 金 沢 南 1回
小濱 廣道 10月27日 加 賀 1回
橋村 昭廣 10月27日 加 賀 1回
衛藤 哲也 10月27日 加 賀 1回
稲村 光昭 10月25日 能 美 1回
染谷 政光 10月25日 能 美 1回
田上 好裕 10月25日 能 美 1回
辰野 直樹 10月25日 能 美 1回
瀬上 博 10月14日 七 尾 1回
津田 晃 10月14日 七 尾 1回
梅沢 良昭 10月12日 立 山 1回

会員異動(入会・退会)

◆入会◆

米田 稔 10月 3日 金沢香林坊
奥 祥一 10月 4日 白 山
水上 克也 10月 4日 白 山

徳光 伸治 10月 7日 金 沢 西
佐藤 晴満 10月 5日 加賀中央
宮本 惣一郎 10月20日 中 島
上田 真弘 10月 1日 富 来
中谷 竹本 10月 1日 能 都
丹羽 重和 10月 4日 富 山
岩本 公一 10月28日 富 山 南
山本 博士 10月18日 富山みらい
水野 雅芳 10月13日 高 岡
上野 貴司 10月13日 高 岡
藤井 康範 10月24日 砺 波

◆退会◆

上田 智子 10月29日(仕事上の都合) 河 北
勝田 省吾 10月12日(仕事上の都合) 金 沢
大柳 光晴 10月26日(仕事上の都合) 金 沢
小西とみい 10月31日(一身上の都合) 加賀中央
藤本真一郎 9月30日(一身上の都合) 七尾みなと
高島 哲史 10月 1日(人事異動) 富 来
鍛冶 義明 9月 1日(健康上の理由) 魚津西
緒方 剛 10月11日 富 山
新田 朋弘 10月18日 富 山

◆会員身分変更◆

笹原 靖直 10月 1日(名誉会員) 朝 日

例会出席報告（10月分）

2016年10月末日現在

分区	クラブ名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)			分区	クラブ名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)		
						期初	月末	増減							期初	月末	増減
石川第1分区A	河 北	81.33	35	82.65	35	24	24	0	富山第1分区	朝 日	67.00	60	65.50	61	25	24	-1
	河 北 南	80.68	37	83.81	32	16	22	6		黒 部	71.66	55	71.82	60	15	16	1
	金 沢	90.16	18	90.14	13	112	117	5		黒部中央	79.76	41	82.15	36	20	21	1
	金 沢 東	87.13	26	87.51	21	98	103	5		滑 川	80.00	40	78.75	46	5	5	0
	金沢香林坊	80.30	39	81.95	38	111	113	2		入 善	65.63	61	76.22	54	9	8	-1
	金 沢 南	93.46	8	93.77	6	55	56	1		宇 奈 月	61.84	64	61.51	65	19	19	0
	6 R C	85.51	5	86.64	3	416	435	19		魚 津	76.72	50	79.35	43	32	32	0
石川第1分区B	白 山	74.94	53	76.94	52	33	35	2	魚 津 西	70.53	57	75.68	55	30	29	-1	
	白山石川	88.49	23	82.09	37	33	33	0	8 R C	71.64	9	73.87	9	155	154	-1	
	金沢百万石	63.89	62	63.96	64	46	46	0	越中八尾	100.00	1	99.71	3	21	22	1	
	金 沢 北	71.57	56	77.68	50	47	49	2	上 市	76.25	52	79.45	41	21	21	0	
	金沢みなと	81.48	34	81.55	40	41	42	1	立 山	61.76	65	65.44	62	17	17	0	
	金 沢 西	90.47	16	89.92	15	50	53	3	富 山	77.83	48	78.20	48	95	98	3	
	7 R C	78.53	8	79.68	7	290	298	8	富山シティー	63.27	63	64.39	63	78	81	3	
石川第2分区	加 賀	89.15	21	89.14	19	49	54	5	富山南	77.53	49	74.25	57	58	59	1	
	加賀中央	84.56	30	88.19	20	33	33	0	富山みらい	78.27	47	79.12	44	80	81	1	
	加賀白山	88.17	24	87.46	22	29	32	3	富 山 中	80.82	36	81.61	39	59	60	1	
	小 松	78.75	45	77.75	49	57	57	0	富 山 西	96.23	5	95.82	5	63	64	1	
	小 松 東	88.63	22	83.72	33	33	34	1	富山大手町	79.18	43	78.21	47	48	50	2	
	小松シティ	85.49	27	86.63	25	30	31	1	10 R C	79.11	7	79.62	8	540	553	13	
	8 R C	84.55	6	84.60	5	308	318	10	射 水	89.66	19	89.35	18	28	29	1	
石川第3分区	能 美	85.35	29	86.73	24	57	58	1	東となみ	88.10	25	83.01	34	20	21	1	
	山 中	76.31	51	77.20	51	20	19	-1	新 湊	84.31	31	85.38	29	43	43	0	
	8 R C	84.55	6	84.60	5	308	318	10	新湊中央	67.18	59	75.23	56	15	16	1	
	羽 咋	90.39	17	90.64	12	27	26	-1	高 岡	100.00	1	100.00	1	68	72	4	
	中能登まほろば	81.94	33	79.43	42	18	18	0	高岡万葉	98.59	4	98.67	4	75	77	2	
	中 島	91.32	14	91.12	9	9	10	1	砺 波	92.03	13	90.76	11	49	52	3	
	7 R C	88.55	2	88.91	1	298	310	12	氷 見	92.14	12	87.41	23	41	42	1	
石川第4分区	七 尾	74.62	54	73.91	58	51	51	0	氷見中央	69.23	58	71.93	59	13	13	0	
	七尾みなと	91.02	15	91.62	8	45	46	1	南 砺	95.15	6	90.00	14	52	51	-1	
	志 賀	93.42	9	85.86	27	19	19	0	小 矢 部	92.28	11	89.77	17	38	38	0	
	富 来	79.50	42	76.78	53	15	16	1	小 矢 部 中	93.00	10	92.90	7	43	43	0	
	7 R C	86.03	3	84.19	6	184	186	2	高 岡 北	84.04	32	85.13	30	42	43	1	
	穴 水	89.58	20	91.06	10	14	14	0	高 岡 西	100.00	1	100.00	1	61	62	1	
	5 R C	85.81	4	86.01	4	125	123	-2	7 R C	89.41	1	88.16	2	290	292	2	
										65RC合計	83.24		83.52		2,606	2,669	63

12月行事予定表

〈疾病予防と治療月間〉

1日(木)	ロータリー研究会	ウェスティンゴヤキャッスル(名古屋)
3日(土)	地区ロータリー米山奨学会年末懇親会	高岡
10日(土)	地区ロータリー米山奨学生選考面接試験(富山地区)	富山
11日(日)	地区ロータリー米山奨学生選考面接試験(石川地区)	金沢
〃	ロータリーリーダーシップ研究会	福光
〃	インターアクト委員会	金沢
〃	インターアクト海外事前研修	〃
17日(土)	第2回地区財務・監査合同委員会	高岡
17日(土)・18日(日)	地区国際青少年交換派遣受入学生合同オリエンテーション(オーストラリア帰国準備)	金沢
18日(日)	規定審議会情報交換会	福光

R財団留学報告(3)

四宮 祥平 様 (グローバル補助金奨学生)

金沢医科大学医学部 呼吸器内科学に所属。
この9月からドイツのギーゼン大学で肺高血圧研究のためロータリー財団グローバル補助金奨学生として留学中。

ドイツに来て早2ヶ月以上が経ちました。ギーゼンでは車の上に雪が少し積もるようになりました。11月5日、6日とフランクフルト市内で新ドイツ奨学生のオリエンテーションがドイツ銀行の会議室で行われました。

オリエンテーションは日独協会の会長の Johannes Beyer さんの「ドイツ人の真っ赤な本当」という話で始まりました。ドイツ人の性格を日本人と比較してお話されたこともあり、大変興味深い内容でした(栗田さんが隣で通訳してくれました)。続いて新奨学生の自己紹介を行いました。今回オリエンテーションに参加した新奨学生は11人で、Frankfurt 大学や Kassel 大学などでドイツ文学やドイツ語学、教育学を学んでいるとのことでした。私と同じ Giessen 大学にいる女性の方もおりましたが、その方も教育学を専攻しているとのこと、理系を専攻しているのは僕1人でした。また1人を除いて全員が海外からの留学生で、ロシア、ルーマニア、ベラルーシ、アルメニアそして日本からでした。オリエンテーションが終わった後は近くの近代美術館で美術を鑑賞し、夕食会となりました。夕食会の際に「数年前までは日本人の奨学生が一番多かったんだけどね」とフランクフルトのロータリアンの方が言われていたのが印象的で、理系だけでなく文系の日本人奨学生がいてもよいのと思いました。翌日はフランクフルト大聖堂の前にあるレストランで朝食会が開かれ、散歩をかねた観光を行った後解散となりました。

12月1日にミュンヘンババリアロータリークラブでクリスマスパーティーが催されます。平日ではありますが、研究室の上司にも許可をいただけたので参加する予定としております。こちらの参加風景につきましても後日送らせていただきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。



編集後記

ガバナー公式訪問と地区大会が終わりほっと一息つきたいところですが、12月も行事が目白押しで、ガバナー事務所は息つく暇もありません。懸案のRLI研究会が11日に、規定審議会情報交換会が18日と矢継ぎ早に開催され、今はその準備で東奔西走しております。年度当初から決まっていた行事とも重なり、まさに「師走」真っ只中といった感じです。特に規定審議会情報交換会は、今後のクラブ運営の方向性を見いだすための重要かつ喫緊の会議です。しっかりと準備して実りのある会にしたいと思います。

最後に村山職業奉仕委員長の言葉をお借りして結びとします。

「イノベーションの止まった組織は衰退していくのが常です。」

2610地区は今日も走ります。

月信担当地区副幹事 久 恵 龍 三

《表紙写真解説》南砺市城端「桜ヶ池」より

湖面に写る南砺の山々が美しい。

右端の袴の腰板に似た端正な山が袴腰山(標高1163m)である。近年車道が延び、1時間かからずに頂上へ立てるようになった。頂上には展望台があって、白山山系をはじめ庄川流域の山が一望でき、遠く北アルプスが望め、眼下には砺波平野の散居村が広がる。4月下旬から5月上旬にかけてシャクナゲの花が登山道を彩り、この時期に訪れる登山者も多い。袴腰山の向こう側は庄川流域で、秘境といわれる越中五箇山の里。近年、五箇山探訪を兼ねて、かなりの登山者が訪れるようになった。南砺RCでは、桜が池湖畔で「りんどう」と「おみなえし」の植栽を行い自然の生態系維持に貢献している。

○写真提供：三吉外男会員(南砺RC写真同好会)



国際ロータリー第2610地区

2016-2017年度 ガバナー事務所

〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4

南砺市福光会館 2F

TEL:0763-58-5610 FAX:0763-58-5611

E-mail:okabe16-17@rotary2610.com